

教科・科目	保健体育・体育①	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	1	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：体育①				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を高めるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>現代高等保健体育（大修館書店）</p> <p>ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動（※） 陸上競技（※） 球技 ダンス（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	体づくり運動（※） 器械運動（※） 球技 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期5回以上、後期5回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴2回で1回分）
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録		
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	① 体づくり運動	前1	1	2	3	4	4/23	4/24	—	4/20
	②	この回は、実施されません。								
	③ 卓球① (ラリー)						5/28	5/29	—	5/25
	④ 卓球② (サービス)						6/11	6/12	—	6/8
	⑤ 卓球③ (ゲーム)						6/25	6/26	—	6/22
	⑥ 卓球④ (ゲーム)						7/9	7/10	—	7/6
	⑦	この回は、実施されません。								
放送 視聴	NHK 高校講座「体育実技」第6回 NHK 高校講座「保健体育」第7回	視聴票	1	2			月	日	合格	
試験	卓球 実技試験		本試験	追再試		8/20	8/21	—	8/17	
後期	⑧	この回は、実施されません。								
	⑨ 体づくり運動 ソフトバレーボール① (ボールコントロール)	後1	1	2	3	4	10/22	10/23	—	10/19
	⑩ ソフトバレーボール② (パス)						11/5	11/6	—	11/9
	⑪ ソフトバレーボール③ (パス)						11/19	11/20	—	11/16
	⑫ ソフトバレーボール④ (ミニゲーム)						12/3	12/4	—	11/30
	⑬	この回は、実施されません。								
	⑭ ソフトバレーボール⑤ (ゲーム)						1/7	1/15	—	1/4
	放送 視聴	NHK 高校講座「体育実技」第2回 NHK 高校講座「保健体育」第8回	視聴票	1	2			月	日	合格
試験	ソフトバレーボール 実技試験		本試験	追再試		1/21	1/22	—	1/18	

6 先生からのメッセージ

スクーリングには、必ず指定の体操服・体育館シューズで出席してください。なお、病気やケガ等で長期的に実技ができない時は、早めに教科担当者へ相談してください。勝敗や出来栄を競ったり、ハードなトレーニングをしたりすることだけが運動ではありません。運動の仕方や大切さ、何より心地よさを体育の学習を通して、実感していきましょう。

教科・科目	保健体育・体育②	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	2	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：体育②				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>現代高等保健体育（大修館書店）</p> <p>ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動（※） 球技 水泳（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	体づくり運動（※） 球技 陸上競技（※） 柔道（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期5回以上、後期5回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴2回で1回分）
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	①	この回は、実施されません。							
	②	オリエンテーション 体づくり運動、体育理論①	前1	1 3	2 4	5/14	—	5/16	5/11
	③	バドミントン① (ストローク)				5/28	—	5/30	5/25
	④	バドミントン② (サービス)				6/11	—	6/13	6/8
	⑤	バドミントン③ (ゲーム)				6/25	—	6/27	6/22
	⑥	この回は、実施されません。							
	⑦	バドミントン④ (ゲーム)				7/23	—	7/25	7/20
	放送 視聴	NHK 高校講座「体育実技」第4回 NHK 高校講座「保健体育」第13回	視聴票	1	2	月 日 合格			
	試験	バドミントン 実技試験		本 試 験	追 再 試	8/20	—	8/22	8/17
後期	⑧	体づくり運動、体育理論②	後1	1 3	2 4	10/8	—	10/10	10/5
	⑨	この回は、実施されません。							
	⑩	フットサル① (パス&ドリブル)				11/5	—	11/7	11/9
	⑪	フットサル② (パス&シュート)				11/19	—	11/21	11/16
	⑫	フットサル③ (ミニゲーム)				12/3	—	12/5	11/30
	⑬	フットサル④ (ミニゲーム)				12/17	—	12/19	12/14
	⑭	この回は、実施されません。							
	放送 視聴	NHK 高校講座「体育実技」第3回 NHK 高校講座「保健体育」第21回	視聴票	1	2	月 日 合格			
試験	フットサル 実技試験		本 試 験	追 再 試	1/21	—	1/23	1/18	

6 先生からのメッセージ

スクーリングには、必ず指定の体操服・体育館シューズで出席してください。なお、病気やケガ等で長期的に実技ができない時は、早めに教科担当者へ相談してください。勝敗や出来栄を競ったり、ハードなトレーニングをしたりすることだけが運動ではありません。運動の仕方や大切さ、何より心地よさを体育の学習を通して、実感していきましょう。

教科・科目	保健体育・体育④	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：体育④				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育（大修館書店） ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動（※） 球技 アウトドアスポーツ（※） 障がい者スポーツ（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	体づくり運動（※） 器械運動（※） 球技 スキー・スノーボード（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期5回以上、後期5回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴2回で1回分）
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録		
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	① 体づくり運動 バスケットボール① (ボールコントロール)	前1	1		2	4/23	—	4/25	4/27	
	3			4						
	② バスケットボール② (ドリブル、シュート)					5/14	—	5/16	5/18	
	③ バスケットボール③ (パス、シュート)					5/28	—	5/30	6/1	
	④ バスケットボール④ (ドリブル、パス、シュート)					6/11	—	6/13	6/15	
	⑤ バスケットボール⑤ (ミニゲーム)					6/25	—	6/27	6/29	
	⑥ バスケットボール⑥ (ゲーム)					7/9	—	7/11	7/13	
⑦	この回は、実施されません。									
放送 視聴	NHK 高校講座「体育実技」第5回 NHK 高校講座「保健体育」第38回	視聴票	1		2			月	日	合格
試験	バスケットボール 実技試験		本試験		追再試		8/27	—	8/29	8/24
後期	⑧ 体づくり運動 ティーボール① (スロー、キャッチ)	後1	1		2	10/8	—	10/10	10/12	
	3			4						
	⑨ ティーボール② (キャッチ、バッティング)					10/22	—	10/24	10/26	
	⑩ ティーボール③ (ゲーム)					11/5	—	11/7	11/2	
	⑪ アルティメット① (スロー、キャッチ)					11/19	—	11/21	11/22	
	⑫ アルティメット② (ミニゲーム)					12/3	—	12/5	12/7	
	⑬ アルティメット③ (ゲーム)					12/17	—	12/19	12/21	
⑭	この回は、実施されません。									
放送 視聴	NHK 高校講座「体育実技」第7回 NHK 高校講座「保健体育」第29回	視聴票	1		2			月	日	合格
試験	筆記試験 レポート後1の内容 スクーリング⑧～⑬の内容		本試験		追再試		1/28	—	1/30	1/25

6 先生からのメッセージ

スクーリングには、必ず指定の体操服・体育館シューズで出席してください。体育は、実施するスクーリング回数に対して、必要出席回数の多い科目です。シラバスを活用し、自分の出席回数を確実に記録しておくようにしましょう。なお、病気やケガ等で長期的に実技ができないときは、早めに教科担当者へ相談してください。

教科・科目	保健体育・保健①	単位数	1 (前期又は後期)		
		ライン	1	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：保健①				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育 (大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	現代社会と健康 安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	現代社会と健康 安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件 (次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。)

スクーリング	選択した時期 (前期又は後期) に、1 回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期 (前期又は後期) に、1 回～3 回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期 (前期又は後期) に、1 回合格すること。	

5 学習の記録

		添削担当者				先生		登録		
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日				
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	①	この回は、実施されません。								
	②	現代社会と健康 健康について	前1	1		2	5/14	5/15	—	5/11
				3		4				
			前2	1		2				
				3		4				
	③									
	④									
	⑤	この回は、実施されません。								
⑥										
⑦	安全な社会生活 心肺蘇生法	前3	1		2	7/23	7/24	—	7/20	
			3		4					
試験	レポート前1～前3の内容		本 試 験		追 再 試	8/20	8/21	—	8/17	
後期	⑧	現代社会と健康 健康について	後1	1		2	10/8	10/16	—	10/5
				3		4				
			後2	1		2				
				3		4				
	⑨									
	⑩									
	⑪	この回は、実施されません。								
	⑫									
⑬	安全な社会生活 心肺蘇生法	後3	1		2	12/17	12/18	—	12/14	
			3		4					
⑭	この回は、実施されません。									
試験	レポート後1～後3の内容		本 試 験		追 再 試	1/21	1/22	—	1/18	

6 先生からのメッセージ

保健は、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う上で、中心的な役割を担う科目です。学習内容を基に、日常生活の中で課題を解決したり、健康的な生活を実践したりできるようになることを目指します。レポートは教科書を見ればできるように作成していますので、最後まであきらめずに取り組んでください。自分や家族、友人など身近な人々の生活と関連付けながら、学習を進めていきましょう。

教科・科目	保健体育・保健②	単位数	1（前期又は後期）		
		ライン	2	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：保健②				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	生涯を通じる健康 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	生涯を通じる健康 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、1回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～3回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① 生涯を通じる健康 妊娠・出産と健康 医薬品とその活用	前1	1		2	4/23	—	4/25	4/20
			3		4				
	前2	1		2	7/9	—	7/11	7/6	
		3		4					
	②	この回は、実施されません。							
	③	この回は、実施されません。							
	④	この回は、実施されません。							
⑤	この回は、実施されません。								
⑥	⑥ 社会生活と健康 さまざまな環境問題 等	前3	1		2	8/20	—	8/22	8/17
3				4					
⑦	この回は、実施されません。								
試験	レポート前1～前3の内容		本試験		追再試				
後期	⑧	この回は、実施されません。							
	⑨ 生涯を通じる健康 妊娠・出産と健康 医薬品とその活用	後1	1		2	10/22	—	10/24	10/19
			3		4				
	後2	1		2	1/7	—	1/9	1/4	
		3		4					
	⑩	この回は、実施されません。							
	⑪	この回は、実施されません。							
⑫	この回は、実施されません。								
⑬	この回は、実施されません。								
⑭	⑭ 社会生活と健康 さまざまな環境問題 等	後3	1		2	1/21	—	1/23	1/18
3				4					
試験	レポート後1～後3の内容		本試験		追再試				

6 先生からのメッセージ

保健は、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う上で、中心的な役割を担う科目です。学習内容を基に、日常生活の中で課題を解決したり、健康的な生活を実践したりできるようになることを目指します。レポートは教科書を見ればできるように作成していますので、最後まであきらめずに取り組んでください。自分や家族、友人など身近な人々の生活と関連付けながら、学習を進めていきましょう。